



参照ページ

1. はじめに	4
1.1. 安全上のご注意	4
1.1.1. 機器取り扱い上のご注意	4
1.1.2. 使用上のお願い	8
1.1.3. 法規情報	10
1.1.4. 商標・ライセンスについて	11
1.2. 各部の名称と機能	12
1.2.1. stera terminal light 本体	12
1.2.2. プリンター	15
1.2.3. 付属品	16
2. ご使用前の準備	17
2.1. 各部の接続方法	17
2.1.1. プリンターと各ケーブルの接続方法	17
2.2. 本体の動作確認	18
2.2.1. 電源のON/OFF	18
2.3. ロール紙のセット	19
2.3.1. ロール紙について	19
2.3.2. ロール紙をセットする	19
2.4. 各読み取り部について	21
2.4.1. 磁気カードリーダー	21
2.4.2. 接触型ICカードリーダー	22
2.4.3. 非接触型ICカードリーダー	23
2.4.4. バーコードリーダー（カメラ）	24
2.5. タッチパネルの操作について	25
2.5.1. タッチパネルの操作	25
2.5.2. アイコンの操作	26

	参照ページ
3. 各種機能設定	28
3.1. 基本設定画面について	28
3.1.1. 設定項目一覧	28
3.2. 初回起動設定	29
3.2.1. 加盟店情報を登録する	29
3.3. ホーム画面について	30
3.3.1. 各種機能設定	30
3.4. ネットワークを設定する	31
3.4.1. Wi-Fi設定	31
3.5. SIMを設定する	33
3.5.1. アクセスポイントの設定	33
3.6. Bluetoothを設定する	34
3.6.1. BluetoothのON/OFF	34
3.6.2. ペ어링設定	34
3.6.3. デバイスの削除	35
3.6.4. 端末の名前変更	35
3.7. 音の設定をする	36
3.7.1. 音量設定	36
3.8. デバイス情報を確認する	37
4. お客様によるお支払いの操作	38
4.1. 端末操作画面について	38
4.2. 店舗側の操作	41
4.2.1. 売上処理	41
4.2.2. レシートの発行	42
4.3. クレジットカードでのお支払い	43
4.3.1. カードの操作	43
4.3.2. 暗証番号の入力	43
4.3.3. 電子サインの入力	44
4.4. 電子マネーでのお支払い	45
4.4.1. カード、スマートフォンの操作	45
4.4.2. 決済処理未了のときは	45
4.4.3. 電子マネーの残高照会	46
4.5. コード決済でのお支払い	47
4.5.1. コードの読み取らせかた	47

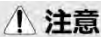
参照ページ

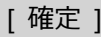
5. 決済後の処理について	48
5.1. レシート再発行・取消処理について	48
5.1.1. レシート再発行・売上取消処理	48
5.2. 売上集計について	50
5.2.1. 売上集計	50
5.3. アプリ情報について.....	51
5.3.1. アプリ情報.....	51
5.3.2. 利用可能コード決済一覧.....	51
5.3.3. 商標・ライセンス情報	51
6. その他の情報	52
6.1. ロール紙が詰まったときは	52
6.2. 仕様	54
6.3. お問い合わせ先	55

■ 本書について

本書には、次のような表示がしてあります。表示の内容をよく理解したうえでお読みください。
ここに示した注意事項は、人への危害や店舗、お客様への財産損害などを防止するためのものです。
必ずお守りください。

○ 説明文における記号の見かた

	警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	注意	軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	《 知識 》	操作方法の説明補足など、知っておいていただきたい内容を示しています。
		してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。
		気をつけていただく内容です。

-  [確定] など  で表現された説明は、画面に表示されるボタンを示します。

1. はじめに

本書は、決済端末 stera terminal light の基本的な取り扱いについて説明しています。

- カードやバーコードの操作のしかたをご説明し、お客様に操作していただけてください。
- 本書のイラストは一部実際と異なる場合があります。
また、一部のソフトウェアの更新や、ソフトウェアバージョンの違いなどによっては記載されている内容と異なる場合があります。
- 端末の設定を行うときは、取扱説明書「**各種機能設定**」をご参照ください。
- 本書の内容は、予告なく変更することがあります。

⚠ 注意

- 本製品は、日本国内仕様です。海外の規格などには準拠していません。

1.1. 安全上のご注意

1.1.1. 機器取り扱い上のご注意

■ 本機、バッテリー、ACアダプターについて

⚠ 警告	
 分解禁止	分解や修理、改造をしない ・ ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。 ・ 本体内の部品を交換することはできません。
 	異物を入れない ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	水をかけたり、ぬらしたりしない ・ ショート・発熱・発火により、火災・感電・けがの原因になります。 ・ ぬれた場合は、直ちにACアダプター・USBケーブルを抜いてください。
 接触禁止	ACアダプターやUSBケーブル接続時に雷が鳴り始めたら、本体やACアダプター、USBケーブルに触れない 感電の原因になります。

⚠ 警告	
	異常・故障時には直ちに使用をやめ、直ちにACアダプター、USBケーブルを抜く ・ 破損した ・ 内部に水や異物が入った ・ 煙が出ている ・ 異常なおいや音がする ・ 異常に熱い ・ 本体が変形している、背面カバーが浮いている そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 直ちに使用をやめてください。
	バッテリー充電時は次のことに必ず注意する ・ 周辺温度が約5～40℃の範囲内で行ってください。 ・ 必ず付属のUSBケーブルを使用し、正しく接続してください。 ・ 自動車のシガーソケットから充電しないでください。 ・ 充電完了の状態からさらに充電を続けると、バッテリーに負荷がかかります。充電が完了したら、すみやかにUSBケーブルを抜いてください。 守らないと火災・感電の原因になります。
	バッテリーの液が漏れたときは素手でさわらない ・ 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。 目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。 ・ 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になります。 きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。
	ACアダプター、USBケーブルを破損するようなことはしない ・ 傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなどはしないでください。 ・ ACアダプターやコードに異常がある場合は、直ちに使用をやめてください。 傷んだまま使用すると、火災・感電の原因になります。
	純正品以外のバッテリーや、代替品への交換は絶対にしない バッテリー保護機能が無効にするおそれのある不適切な種類のバッテリーには交換しないでください。爆発するおそれがあり危険です。
	爆発するおそれがあるため、バッテリーを廃棄するときも次のことは絶対にしない ・ バッテリーを火中へ投入したり、焼却廃棄したりしないでください。 ・ バッテリーに無理な力を掛けたり、押しつぶしたり、切断したりしないでください。
	可燃性の液体またはガスが漏れたり、爆発したりするおそれがあるため、次のことは絶対にしない ・ バッテリーを高温の環境下（40℃以上）に放置しないでください。 ・ バッテリーを極端に低い気圧の環境にさらさないでください。
	必要なとき以外は、バッテリーを取り外したり、取り外そうとしたりしない ユーザーによる交換を想定された仕様のバッテリーではありません。

⚠ 警告	
	ACアダプター、USBケーブルのほこりなどは定期的にとる - ACアダプター、USBケーブルを抜き、乾いた布できれいにふいてください。 - 長時間使用しないときは、ACアダプター、USBケーブルを抜いてください。 たまったほこりなどにより、湿気などによる絶縁不良で火災の原因になります。
	ACアダプター、USBケーブルは根元まで確実に挿し込む 挿し込みが不完全な場合に感電や、発熱による火災の原因になります。 ゆるんだコンセントや傷んだACアダプター、USBケーブルは使用しないでください。
 ぬれ手禁止	ぬれた手でACアダプター、USBケーブルの抜き挿しはしない 感電の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 AC100V以外での使用も絶対にしないでください。発熱による火災の原因になります。
	医療機関の屋内では次のことを守って本機を使用すること - 病棟内では、使用しない - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、使用しない - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う 本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から本機を15 cm 以上離す 電波によりペースメーカーおよび除細動器の作動に影響を与える場合があります。
	高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しない 本機からの電波が機器に影響を及ぼすおそれがあり、誤動作による事故の原因になります。 ご注意いただきたい電子機器や医療機器について 補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知機、自動ドア、その他の自動制御機器など 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方 当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
	航空機内では電源を切ること - 本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。 - 航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。
	航空機内には手荷物として持ち込むこと - 預け入れ荷物の場合、荷室での気圧変化により、発熱・発火による火災の原因になります。 - 航空機内へ持ち込む際は、航空会社の指示に従ってください。

⚠ 注意	
	保管するときは次のことを守る ・ バッテリーの劣化を防ぐため、長期間使用しない場合でも定期的に充電してください。 ・ 満充電状態、またはバッテリー残量の極端に少ない状態での保管は避けてください。 バッテリーの性能、および寿命低下の原因になります。
	湿気やほこりの多い場所や、湯気などが当たるような場所には置かない 火災・感電などの原因になるおそれがあります。
	ACアダプターに強い衝撃を加えない ・ 落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、火災・感電の原因になるおそれがあります。
	純正品以外のACアダプターを使用しない 付属のACアダプターは専用品です。本製品（プリンター）以外ではご使用になれません。
	高温の場所に置かない 直射日光の当たる場所や調理台、熱器具のそばなど、極端に高温になる場所に置くと、外装ケースの変形や、内部部品の故障・劣化を引き起こす原因となります。そのような状態での使用は、ショートや絶縁不良による火災・感電の原因につながるおそれがあります。
	不安定な場所に置かない 落下すると、けがや本機破損の原因になります。
	カメラのレンズに直射日光などを長時間当てない レンズの集光作用により、火災・やけど・けがなどの原因になるおそれがあります。
	必ず付属のACアダプター、付属のUSBケーブルを使用する 守らないと、火災・感電の原因になるおそれがあります。
	必ずアダプターを持って引き抜く コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になるおそれがあります。
	ディスプレイが破損した場合、割れたガラスやむき出しになった内部、漏れた内部の物質には触れないように注意する ・ けがの原因になるおそれがあります。また、内部の物質が皮膚や衣服に付着すると目や皮膚への傷害などを起こす原因になります。 ・ こすらずすぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。
	プリンターのフロントカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意する けがの原因になるおそれがあります。

1.1.2. 使用上のお願い

本製品を正しくご使用いただくために、次の点をお守りください。

⚠ 注意

- ご使用になる前に本機を必ず確認し、異変がある場合は使用しないでください。
- 分解または改造された形跡がある場合は、使用しないでください。

■ 本機について

⚠ 注意



- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。故障、破損の原因になります。
- ディスプレイ上に物を置いたり、先のとがったもので押さえつけたりしないでください。ディスプレイの表面に傷がつく原因になります。
- テレビやラジオの近くに置かないでください。受信障害の原因になることがあります。
- 静電気の起きやすい場所（じゅうたんを使用しているところなど）には置かないでください。
- 本機、周辺機器、ケーブルなどの故障を防ぐため、下記の記載事項をお守りください。
 - ・本機の仕様に適合した周辺機器を使用してください。（→P54）
- プリンターの電源端子、USBポートにほこりや油などを付着させないでください。また、傷をつけないでください。

■ 操作環境・使用場所について

⚠ 注意



水ぬれ禁止

- 本機・付属品は防水／防じん性能を有しておりません。水などの液体をかけたり、ぬらしたりしないでください。また、湿気、砂、ほこりの多い場所でのご使用はおやめください。
- 屋内（一般店舗内の環境）で使用してください。
- ご使用になる前に、必ずプリンターのフロントカバーを閉じてください。
内部に液体、砂、ほこり、その他の異物が入らないよう、常に本体、およびプリンターを清潔にし、ロール紙交換などでプリンターを開けた後は、確実に閉じたことを必ず確認してください。
- 本体とプリンターを接続する際に、異物を挟まないようご注意ください。
- 強い電磁波のあるところから離して使用してください。
（例）電子レンジ、無線機、トランシーバー、磁石、万引き防止装置、高圧線、自動ドア、通信用アンテナ、タグ解除機など
- 磁気カードの読み取り操作を妨げるような場所に置かないでください。
- 高（低）温になる場所、温度変化の激しい場所、湿度の高い場所には置かないでください。
- 寒い場所から暖かい場所へ移すと結露することがあります。結露した場合は、付着した水滴が蒸発するまで本機の使用を控えてください。

■ お手入れについて

⚠ 注意	
 	・ お手入れの際は、必ず電源を切ってください。 ・ お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。 ・ ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、本体表面に影響を与えるおそれがありますので使用しないでください。 ・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 暗証番号の入力方法について（お客様にお伝えください）

⚠ 注意	
	・ 暗証番号の漏えいや悪用を防ぐため、次のことを必ずお守りください。 ・ 必ずお客様に暗証番号の入力をさせていただく ・ 周りの人に見られたり、監視カメラに映ったりしないよう、手や体で隠すようにして暗証番号の入力をさせていただく ・ 暗証番号の入力ミスを防ぐため、入力音や画面表示を確認しながら確実に入力していただく。

■ 磁気カードリーダー、接触型ICカード挿入口について

⚠ 注意	
	・ 暗証番号やカード情報の漏えい、悪用を防ぐため、日々のご使用前に、磁気カードリーダー、接触型ICカード挿入口の内部に異物がないことをご確認ください。

■ バッテリーの廃棄について

⚠ 注意	
 	・ 本製品に使用している「リチウムイオンポリマーバッテリー」は、リサイクルできる貴重な資源です。 ・ このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。 ・ 製品を廃棄するときは、バッテリーを取り出して充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。（家庭ゴミとしては絶対に捨てないでください）

1.1.3. 法規情報

日本国内で無線LAN / Bluetooth®をお使いになる場合のお願い

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、購入先にお問い合わせください。

本機の無線LAN機能（2.4 GHz帯）が使用する周波数帯

- 次の図は、本機が 2.4 GHz周波数帯（2412から2472 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重（OF）方式の無線装置で、与干渉距離が約40 mであることを示しています。



本機のBluetooth 機能が使用する周波数帯

- 次の図は、本機が 2.4 GHz周波数帯（2402から2480 MHz）を使用する周波数ホッピング（FH）方式／その他の方式の無線装置で、与干渉距離が約10 mであることを示しています。



- 本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本機の銘板ラベルに表示されております。本機のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。



- 5.2 GHz/5.3 GHz帯の無線LAN（W52/W53）を屋外で使用することは電波法で禁止されています（法令により許可された場合を除く）。

本機の非接触型ICカードリーダー／ライター機能は、周波数13.56 MHzの誘導電波を使用しています。

- 周囲で他の非接触型ICカードリーダー／ライターなどをご使用の場合、十分に離してお使いください。
また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 本機は、総務省の型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。

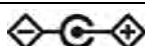
⚠ 注意

- 電波法／電気通信事業法に抵触しますので、次のことは絶対にしないでください。
 - ・ 本機の改造、または改造されたその設備の使用
 - ・ 型式指定番号が記載された銘板をはがした状態での使用

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

■ 本体、ACアダプター銘板の図記号について

 : 交流	 : 直流
 : DC入力／DC出力	 : クラスⅡ機器

1.1.4. 商標・ライセンスについて

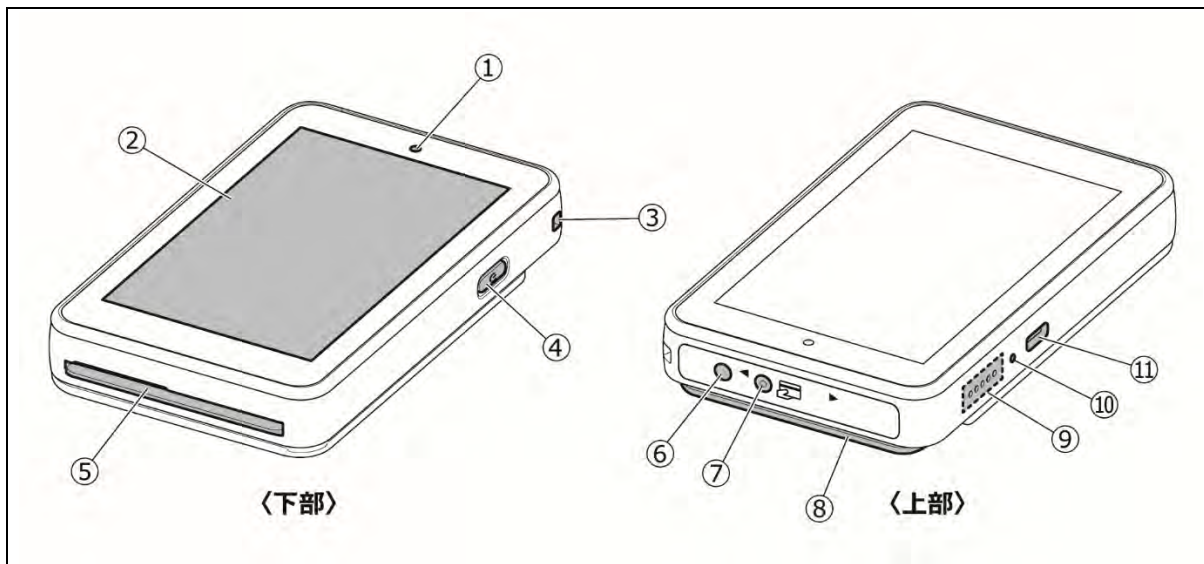
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。三井住友カード株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- QRコード は（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License、およびAVC Patent PortfolioLicense に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVCビデオ）記録すること。
 - 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

1.2. 各部の名称と機能

1.2.1. stera terminal light 本体

■ 表側



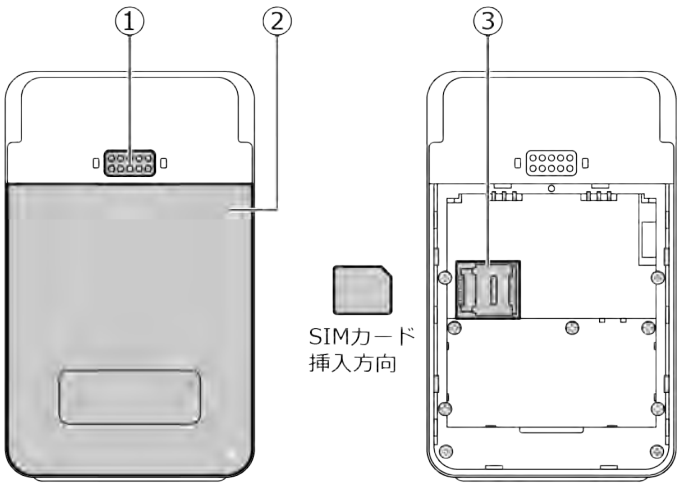
No.	名称	機能
①	フロントカメラ	バーコードまたはQRコードを読み取ります。
②	操作パネル/ディスプレイ (タッチパネル)	決済時に店舗/お客様が操作します。
③	ストラップホール	端末にセキュリティワイヤーなどを取り付けることができます。
④	電源ボタン (→P18)	本体の電源をON/OFFします。
⑤	接触型ICカード挿入口	ICチップが上になるようにセットしてカードを読み取ります。
⑥	LED	LEDランプが内蔵されています。
⑦	上部カメラ	バーコードまたはQRコードを読み取ります。
⑧	磁気カードリーダー	ストライプが下になるようにスライドしてカードを読み取ります。
⑨	スピーカー	端末のスピーカーです。
⑩	充電インジケータ	バッテリー充電中は赤色に点灯します。
⑪	USB (Type-C) ポート	端末の充電時やデータの転送時に使用します。

○ 本体の充電方法

USB (Type-C) ポート (⑪) に付属のUSBケーブルを接続して充電してください。 (→P16)

- USBの電源は、定格出力 DC5V 2AのUSB (Type-A) ポートのアダプターをご使用ください。
- ACアダプターに接続したプリンターに本体を接続しても、充電することができます。 (→P15)
- 本体のバッテリー充電中は、充電インジケータ (⑩) が赤色に点灯します。
USBケーブル接続中は、満充電 (100%) になっても消灯しません。

■ 裏側

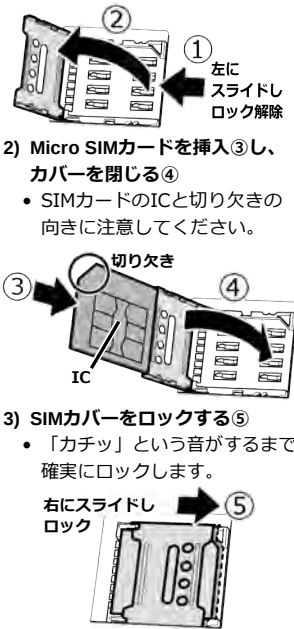


SIMカード
挿入方向

〈背面カバー／バッテリー取り外し時〉

▼ SIMカードの挿入方法

- 1) SIMカバーのロックを外し①、カバーを開く②
- 2) Micro SIMカードを挿入③し、カバーを閉じる④
 - SIMカードのICと切り欠きの向きに注意してください。
- 3) SIMカバーをロックする⑤
 - 「カチッ」という音がするまで確実にロックします。



No.	名称	機能
①	プリンター接続端子	プリンターを接続する際に使用します。
②	背面カバー	SIMカードの操作をする際に取り外します。
③	SIMカード挿入口	SIMカードを挿入します。

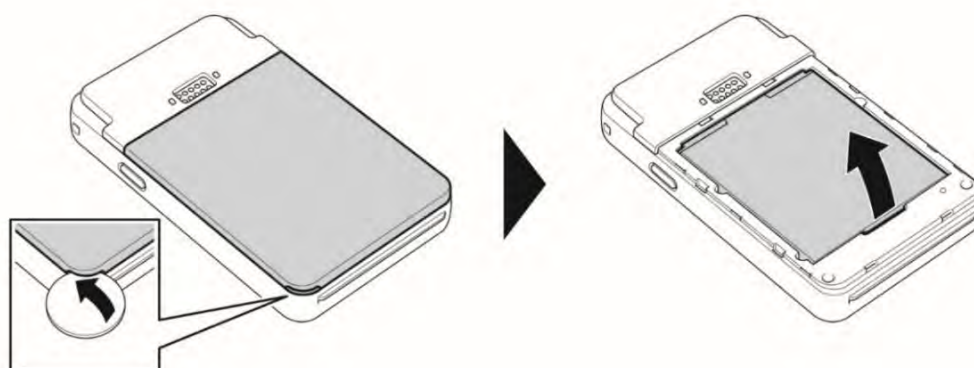
○ バッテリーの取り外し／取り付け

SIMカードを挿入する際にバッテリーを取り外します。

- SIMを挿入したら、設定画面から「SIM」を選択し、設定を行ってください。 (→P33)

▼ バッテリーの取り外し／取り付け方法

- 1) 背面カバー左下の切り欠きにコインを挿入し、矢印の方向にひねって開く
- 2) バッテリーを矢印の方向に持ち上げて取り外す



- 3) 取り付けるときはバッテリーを取り外す逆の手順で取り付ける
- 4) 背面カバーのツメの位置を合わせて確実に取り付ける

■ 画面・アイコン表示

①

決済初期画面

18:27

支払金額

¥0

7

8

9

4

5

6

1

2

3

0

00

<X>

クリア

確定

メニュー画面

18:27

メニュー

X

取引履歴
取引/返品

売上集計

残高照会

アプリ情報

終了

No.	名称	機能
①	ステータスバー	時刻やステータスアイコンなどを表示します。
②	[三]ボタン	メニュー画面を表示します。
③	[X]ボタン	決済初期画面に戻ります。
④	メニューアイコン	メニューの一覧を表示します。 • 一覧で各アイコンにタッチした内容が開きます。

○ 初回起動時について

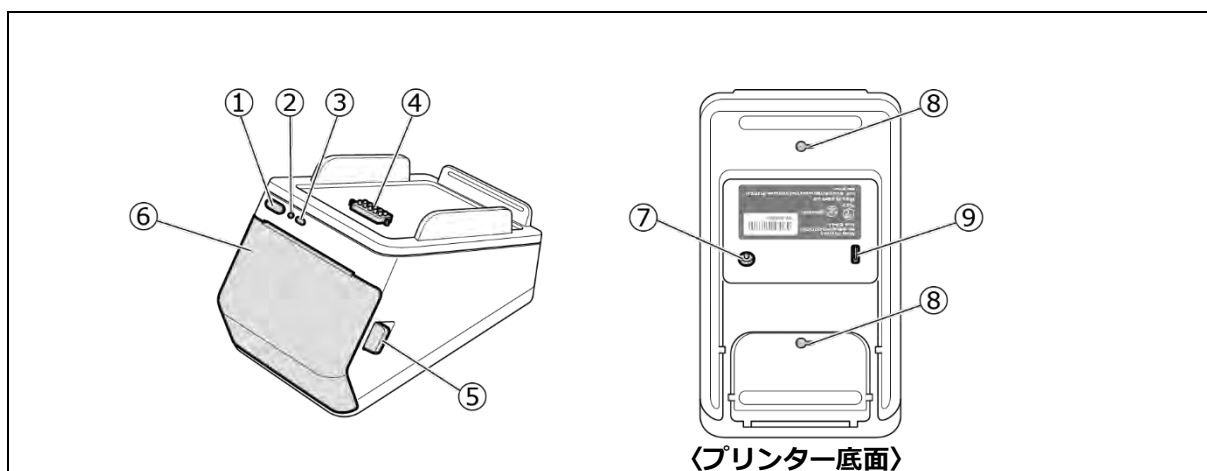
初回起動時には、ネットワーク等の設定が必要になります。 (→P29)

SMBC 三井住友カード

14

Have a good Cashless.

1.2.2. プリンター



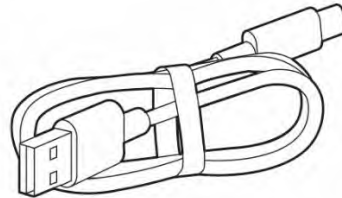
No.	名称	機能
①	ロール紙送り・カットボタン	ロール紙を送り出し、カットするときに使用します。
②	Bluetooth表示灯	本体との通信状態を表示します（接続時点灯・未接続時点滅）。
③	電源表示灯	ACアダプターが接続されていると、赤色に点灯します。
④	接続端子	本体の接続と本体のバッテリーを充電する際に使用します。
⑤	フロントカバーオープンレバー	レバーを前に押すとフロントカバーが開きます。
⑥	ロール紙収納部	フロントカバーを開いた内部にあります。
⑦	電源端子	プリンターにACアダプターを接続するときに使用します。
⑧	キーホール固定部	壁やテーブルなどへ固定する際に使用します。
⑨	USB (Type-C) ポート	システム更新時などに使用するUSB (Type-C) ポートです。 ※プリンターへの給電には使用できません。

- 使用するときは、ロール紙をセットしてください。 (→P19)
- ロール紙をセットしたら、①ロール紙送り・カットボタンを2回押して、テスト印刷を行ってください。
 - ①ロール紙送り・カットボタンを1回押すと、ロール紙を適正の位置まで送り出し、カットします。
 - 送り出されたロール紙は、パーシャルカット（中央1点つなぎ）されますので、まっすぐに引っ張って切り離してください。

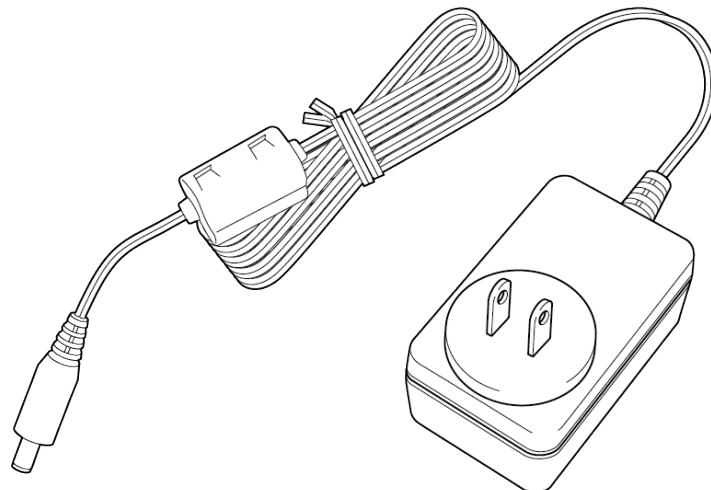
1.2.3. 付属品

万一、付属品が同梱されていない、または不足しているときは、購入先にお問い合わせください。

■ USBケーブル



■ ACアダプター（プリンター付属専用品）



⚠ 注意

- 付属のACアダプターは専用品です。本製品（プリンター）以外ではご使用になれません。

2. ご使用前の準備

2.1. 各部の接続方法

ACアダプター、ケーブルなどを接続するときは、平らな場所に柔らかい布などを敷いて作業してください。また、本体の下に異物がないことを確認してください。

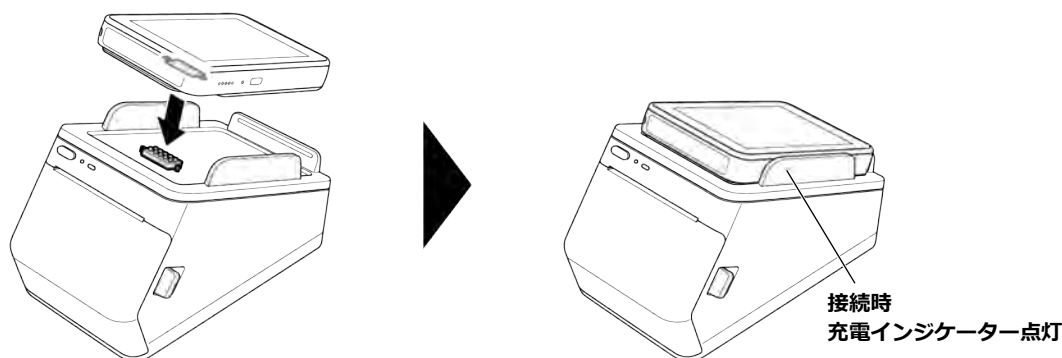
2.1.1. プリンターと各ケーブルの接続方法

■ プリンターの接続方法

下図のように接続することで、プリンターと本体をペアリングすることができます。

- ペアリングを行うときは、プリンターと本体の電源がONの状態接続してください。 (→P18)
- プリンターとの接続に成功すると「ポーン」*という音が鳴り、充電インジケーターが点灯します。
- ペアリングの解除を行うときは、Bluetoothの設定からデバイスの削除を行ってください。 (→P35)

*: 音の設定をサイレントモードにしていると、プリンター接続成功時の音は鳴りません。 (→P36)



- ペアリングが完了したら、決済時にプリンターから本体を離しても通信することができます。

■ 各ケーブルの接続（プリンター底面）

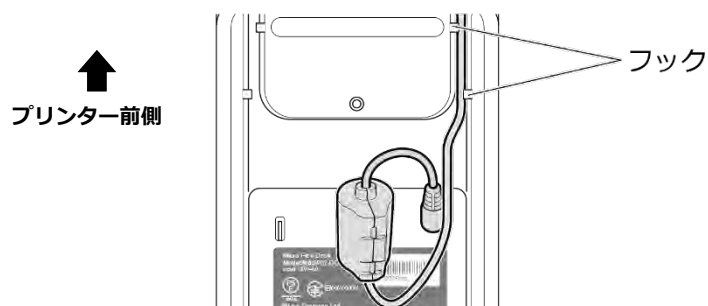
○ ケーブルの抜け防止

ACアダプターのケーブルは、引っ張られるとプリンターから抜けてしまいます。このため、ケーブルが抜けないように、図を参考にしてフックにケーブルを掛けてください。

▼ 配線方法

ACアダプターケーブルをフックに掛ける

- ACアダプターのケーブルを接続すると、プリンターの電源がONになります。

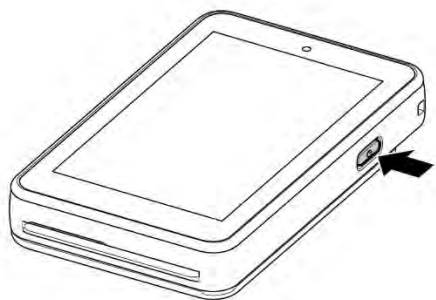


2.2. 本体の動作確認

本体とUSBケーブルをPC機器などに接続している、またはバッテリーが十分に充電されている状態で、動作確認を行ってください。 (→P12)

2.2.1. 電源のON/OFF

■ 電源ボタンの位置



■ 「電源を切る／再起動」の画面表示



▼ 操作方法

○ 電源を入れるとき

電源がOFFの状態で電源ボタン押す

- 電源ボタンを画面が表示されるまで、押し続けてください。

○ 電源を切るとき

1) 電源がONの状態で電源ボタン押す

- 「電源を切る／再起動」の画面が表示されるまで電源ボタンを押し続けます。

2) [電源を切る]にタッチする

- 「電源を切る／再起動」画面以外の領域をタッチすると、元の画面に戻ります。
- 再起動する場合は、[再起動]にタッチします。

■ スリープモードについて

画面表示中に電源ボタンを押したとき、または、本機を一定時間操作しなかったときは、画面が消灯してスリープモードになります。

スリープモード中は、電力消費を抑え、タッチパネルの誤操作を防止します。

- スリープモード中に次の操作を行うと、スリープモードが解除されます。
 - 画面をダブルタップする*
 - 電源ボタンを押す
 - USBケーブルを接続する
 - プリンターに接続する（オプション）

*：プリンター接続時はこの方法で解除してください。

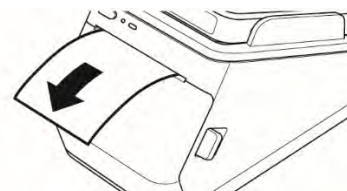
2.3. ロール紙のセット

2.3.1. ロール紙について

必ず推奨（仕様：感熱紙、寸法：約W58mm×Φ35mm）のロール紙を使用してください。推奨のロール紙以外を使用した場合、動作保証はいたしません。（→P55）

《 知識 》

- ロール紙は感熱紙ですので、熱や薬品に反応して発色、退色（印字濃度が薄くなる）します。光や熱を発する場所、アルコール・シンナーなどの揮発性薬品のそば、紫外線が当たる場所、ポリ塩化ビニール製の事務用品や接着テープなどのそばでの保管は避けてください。
- ロール紙が残り少なくなると、ロール紙の両端に赤い線が表示されます。新しいものに交換してください。
- カットされるまでロール紙にはさわらないでください。
- ロール紙はパーシャルカット（中央1点つなぎ）されますので、カット処理後、プリンターの下部を押さえながら、まっすぐに引っ張って切り離してください。
- オープンレバーを押してもフロントカバーが開かないときは、フロントカバーを無理に開けないでください。一度カチッと音がするまでフロントカバーを閉めてから再度、オープンレバーを押してください。
- ロール紙が正しくない位置にはさまった場合は、フロントカバーを開き、ロール紙をセットし直してください。

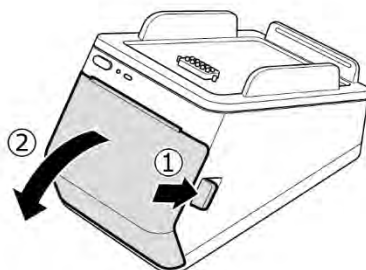


2.3.2. ロール紙をセットする

▼ 操作方法

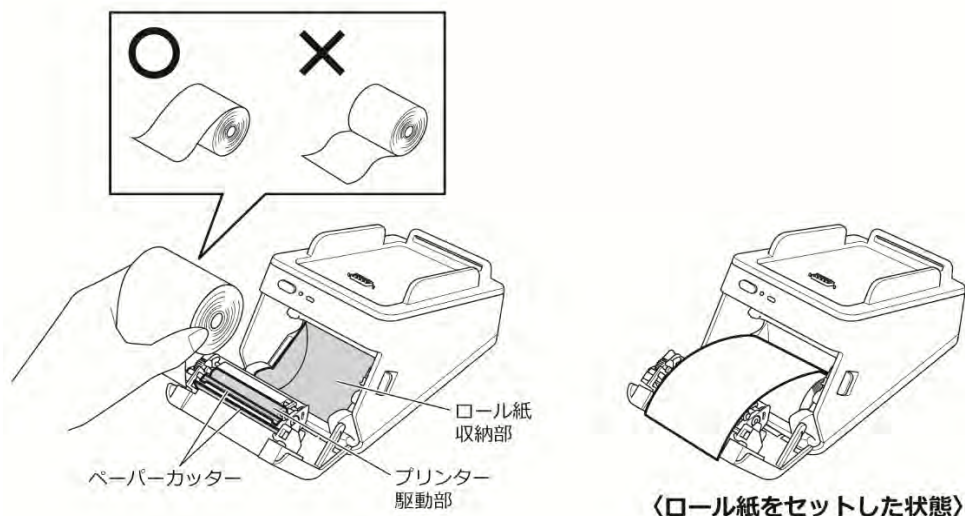
1) フロントカバーを開く

- フロントカバーオープンレバー（①）を押し、フロントカバーを開きます。



2) ロール紙をセットする

- ロール紙を収納部に入れ、ロール紙をまっすぐに引き出します。



⚠ 注意

- ロール紙の向きを確認してからセットしてください。ロール紙を逆向きにセットすると印字ができなくなります。
- ロール紙の先端がロール紙排出口から2 cm程度出るようにロール紙を引出します。

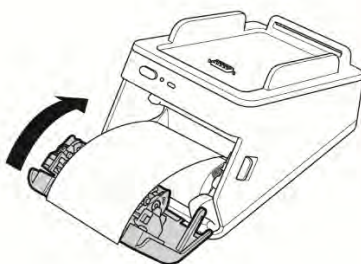
⚠ 警告

ロール紙を交換するときは

- プリンターヘッドは高温になりますのでさわらないように注意してください。
- ペーパーカッターで指を切らないように注意してください。

3) フロントカバーを閉じる

- カチッと音がするまでフロントカバーを閉めます。



⚠ 注意

- 指などをはさまないように注意してください。

4) ACアダプターをつなぎ、テスト印刷を行う

- ロール紙送り・カットボタンを2回押してください。 (→P15)

■ ロール紙が詰まったときは (→P52)

2.4. 各読み取り部について

2.4.1. 磁気カードリーダー

⚠ 注意

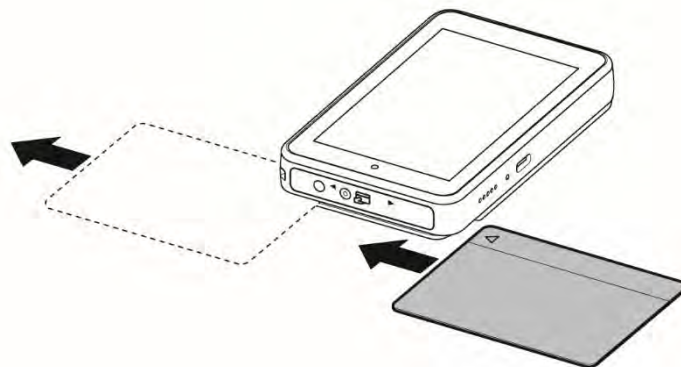
磁気カードリーダーに関するご注意

- 磁気カード以外は通さないでください。
- 水にぬれたカードを通さないでください。
- 割れているカードを通さないでください。

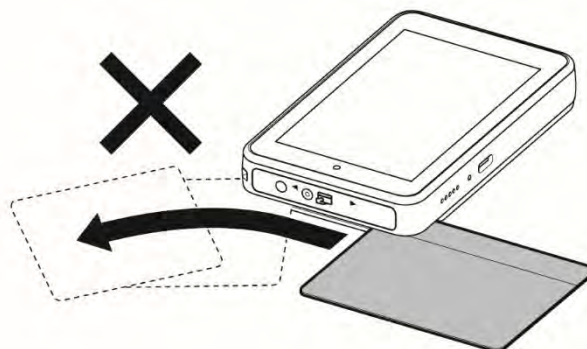
▼ 操作方法

磁気カードを右から左にスライドさせる

- 磁気カードの磁気ストライプの面を下にしてカードリーダーの奥まで差し込みます。
- カードは一定の速度でまっすぐにスライドしてください。



- カードはまっすぐにスライドしてください。
手前に円弧を描くようにスライドすると、カードが正しく読み取れない場合があります。



2.4.2. 接触型ICカードリーダー

⚠ 注意

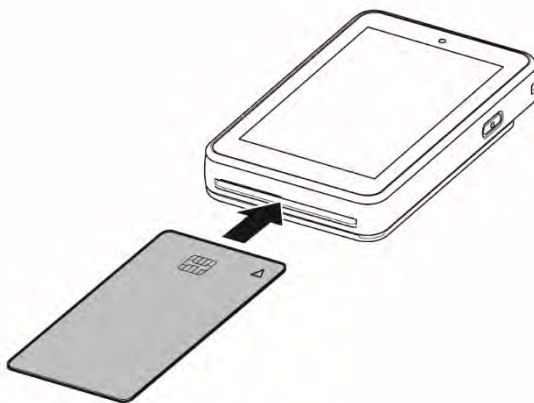
接触型ICカードリーダーに関するご注意

- 水にぬれたカードを差し込まないでください。
- 割れているカードを差し込まないでください。
- カードの汚れや接点の汚れは、ふき取ってからご使用ください。
- 接触型ICカード挿入口に異物や汚れが付着しないよう、日々のご使用の前に清掃してください。使用中に異物や汚れが付着したときは、直ちにに取り除いてください。

▼ 操作方法

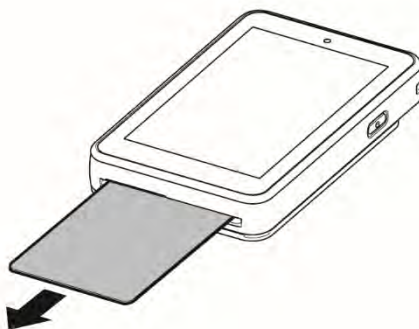
1) 接触型ICカード挿入口に接触型ICカードを差し込む

- 接触型IC カードの接点部を上にして、接触型IC カード挿入口に水平に差し込みます。
- カードがきちんと止まるまで差し込んでください。



2) 処理が完了したらカードを引き抜く

- 「カードをお取りください」と画面に表示されるまで、カードを引き抜かないでください。



2.4.3. 非接触型ICカードリーダー

⚠ 注意

非接触型ICカードリーダーに関するご注意

- スマートフォンをディスプレイなどに強くぶつけないようにご注意ください。
- 読み取り／書き込みができない場合は、カード（またはスマートフォン）の位置を少しずつらせてください。
- ご使用になるときは、他の非接触型ICカードリーダー／ライターから十分に離してください。カードが正しく読み取れない場合があります。

▼ 操作方法

画面に非接触型ICカードをかざす

- 非接触型IC カードの中心（またはスマートフォンに印字されているFeliCaなどのマーク）を、画面に表示されているガイド（FeliCa マークなど）の位置にかざします。



《 知識 》

- 表示されるガイドはカードによって異なります。

2.4.4. バーコードリーダー（カメラ）

バーコード、またはQRコードを読み取ります。

⚠ 注意

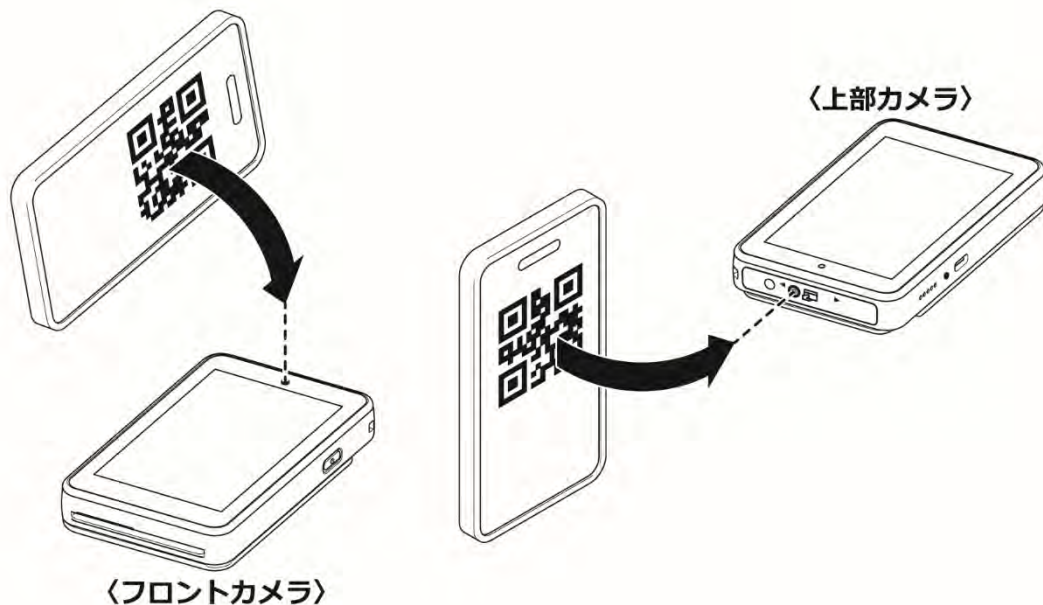
バーコードリーダーに関するご注意

- 照明器具の真下を避けて本機を使用してください。本機の真上に照明があると、バーコードやQRコードが読み取れないことがあります。

▼ 操作方法

バーコードやQRコードをカメラにかざす

- バーコードやQRコードの中心をカメラに合わせて、約10 cm 離れた位置でかざします。
- 読み取り中のQRコードが画面に表示されますので、全体が入るように調整してください。
- 音が鳴るまで、かざしてください。



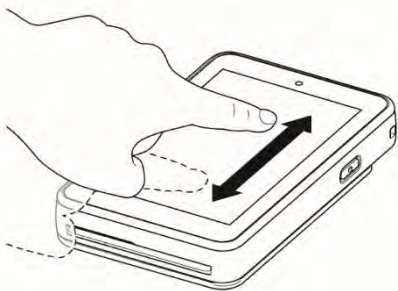
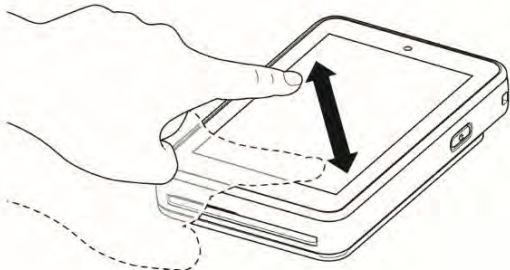
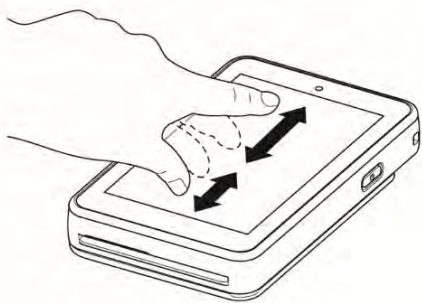
《 知識 》

- バーコードやQRコードがうまく読み取れないときは、画面の映像を確認しながら、お客様を正しいかざし位置に誘導してください。

2.5. タッチパネルの操作について

2.5.1. タッチパネルの操作

一般的なタッチパネルの操作例です。

タッチ 	画面上の項目やオプションを選びます。
スワイプ 	画面をスクロールします。
フリック 	画面を素早くはじくようにスクロールします。
ピンチ 	表示を拡大したり縮小したりします。アプリケーションによっては、画面をダブルタップすることで表示を拡大したり縮小したりすることができます。

2.5.2. アイコンの操作

設定や選択時などに操作するアイコンの操作例です。

■ スイッチ



機能の有効／無効（オン／オフ）を切り替えるスイッチです。

- タッチするたびに、「有効」と「無効」が切り替わります。

■ スライダー



複数の段階（範囲）から調整して設定することができます。

- 「●」などをスライドして設定します。

■ ラジオボタン



複数の項目の中から、一つの項目を選択するボタンです。

- 「○」をタッチすると選択「●」されます。

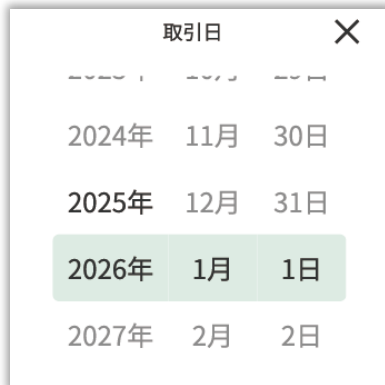
■ チェックボックス



利用したい項目を複数選択できます。

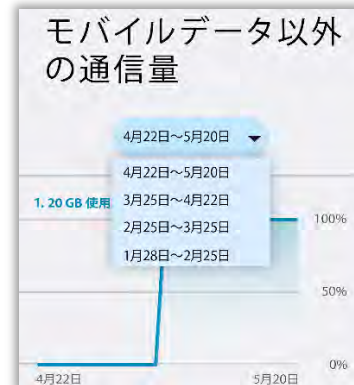
- 「□」をタッチすると選択「☑」されます。

■ ドラムロール



数値や項目を上下にスワイプして選択します。

■ ドロップダウンリスト



タッチすると項目が表示されます。

- 複数の項目の中から、一つの項目を選択します。

■ 入力欄

文字を入力するエリアです。

- タッチするとソフトウェアキーボードが表示され、文字を入力できます。

3. 各種機能設定

3.1. 基本設定画面について

各種機能の設定を行うことができます。

- steraホーム画面から[端末設定]にタッチして、表示された項目を選択し、設定を行ってください。

3.1.1. 設定項目一覧

番号	機能
①	ネットワーク接続の設定を行います。 (→P31)
②	SIMの設定を行います。 (→P33)
③	Bluetooth接続の設定を行います。 (→P34)
④	各種音量の設定を行います。 (→P36)
⑤	デバイス情報を確認できます。 (→P37)

- 画面が消灯し、待機状態（スリープモード）になるまでの時間は、5分固定で変更できません。
- 待機状態（スリープモード）からの復帰方法は、画面をダブルタップすると解除されます。

その他の操作について

- 初回起動設定 (→P29)
- ホーム画面について (→P30)
- 画面・アイコン表示 (→P14)
- タッチパネルの操作 (→P25)
- アイコンの操作 (→P26)

- 以降設定の説明にある名称については、「アイコンの操作」をご確認ください。

3.2. 初回起動設定

本機をはじめて起動させたときに、次の設定を行います。

3.2.1. 加盟店情報を登録する

▼ 操作方法

1) 本体を起動する

- 電源ボタンを押して電源をONにします。
(→P18)

2) ネットワークを設定する



- 「Wi-Fi」を設定する (→P31)
- 「SIM」を設定する (→P33)
- 設定が完了したら、初期設定画面に移行します。

3) [初期設定を始める]にタッチする



- タッチするとオンライン接続で自動的に加盟店情報を確認します。

4) 表示された内容を確認し[はい]にタッチする

- 加盟店の情報が表示されますので、間違いがなければ[はい]にタッチしてください。



5) 加盟店情報が認証される

- 加盟店情報設定が完了します。



6) [次へ]にタッチする

- [次へ]にタッチすると、ホーム画面へ移行します。(→P30)

3.3. ホーム画面について

初回起動設定が完了すると、ホーム画面が表示されます。

- [決済を始める] にタッチすると、決済初期画面が開きます。 (→P38)
- [端末設定] にタッチすると各種機能の設定を行うことができます。



3.3.1. 各種機能設定

各種機能の設定を行います。

▼ 操作方法

1) [端末設定] にタッチする

- 端末の設定メニューが開きます。



2) 設定したい項目にタッチする

- 「Wi-Fi」 (→P31)
- 「SIM」 (→P33)
- 「Bluetooth」 (→P34)
- 「音量」 (→P36)
- 「デバイス情報」 (→P37)

3) 設定が完了したら[←]ボタンにタッチする

- ホーム画面に戻ります。

3.4. ネットワークを設定する

Wi-Fiの設定などを行います。

《 知識 》

- 本機を設置した後でネットワーク環境などを変更すると、通信ができなくなることがあります。その場合は、再度本機のネットワーク設定を行ってください。

3.4.1. Wi-Fi設定

■ Wi-FiのON/OFF

▼ 操作方法

- 1) [Wi-Fi]にタッチする
- 2) 「Wi-Fi」のスイッチにタッチする
 - 「Wi-Fi」のスイッチを「ON」または「OFF」にします。



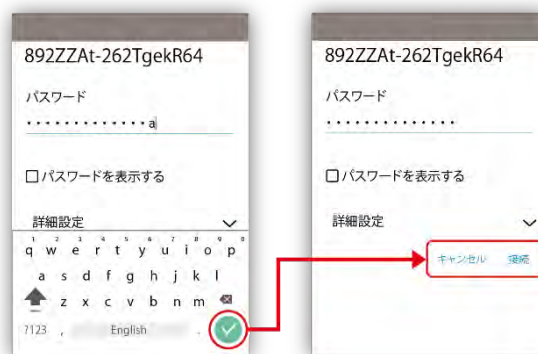
■ 接続先の追加

○ 周囲の接続先を追加

周囲のネットワークを検索して接続先に追加します。

▼ 操作方法

- 1) [Wi-Fi]にタッチする
- 2) 「Wi-Fi」のスイッチにタッチする
 - 「Wi-Fi」のスイッチを「ON」にします。
- 3) 希望のネットワークにタッチする
- 4) パスワード（セキュリティキー）を入力する
 - ソフトウェアキーボードでパスワードを入力し、[✓]にタッチします。
- 5) [接続]にタッチする



- 認証に成功すると、ネットワークに接続されます。
- やめるときは[キャンセル]にタッチしてください。

《 知識 》

- 希望のネットワークが表示されていない場合は、手動でネットワークを追加できます。 (→P32)

○ 手動で接続先を追加

▼ 操作方法

- 1) **[Wi-Fi]**にタッチする
- 2) 「Wi-Fi」のスイッチにタッチする
 - 「Wi-Fi」のスイッチを「ON」にします。
- 3) **[ネットワークを追加]**にタッチする
 - **[QR]**にタッチするとカメラが起動し、QRコードを読み取ることができます。
- 4) ネットワーク名（SSID）を入力する



- セキュリティタイプ、パスワード（セキュリティキー）などを設定します。
 - ソフトウェアキーボードで各項目を入力し、**[✓]**にタッチします。
- 5) **[保存]**にタッチする



- やめるときは**[キャンセル]**にタッチしてください。

■ 接続先の削除

▼ 操作方法

- 1) **[Wi-Fi]**にタッチする
- 2) 「Wi-Fi」のスイッチにタッチする
 - 「Wi-Fi」のスイッチを「ON」にします。
- 3) 接続中ネットワークの**[⚙]**にタッチする
- 4) **[削除]**にタッチする
 - 接続中のネットワークを切断する場合は、**[接続を解除]**にタッチしてください。

■ ネットワーク設定

スイッチを操作してのON/OFFを設定することができます。

- 「Wi-Fiを自動的にONにする」：保存済みのネットワーク検出時にWi-FiをONにする
- 「利用可能なパブリックネットワークを通知する」：公共ネットワークが利用可能な時に接続先に表示されます。

■ 保存済みネットワーク

過去に接続したネットワークを確認することができます。

■ モバイルデータ以外の通信量

モバイルデータ以外の通信量と一覧が表示され、確認することができます。



- ドロップダウンリストにタッチして、確認したい期間を選択することができます。

3.5. SIMを設定する

SIMでネットワークに接続できるようアクセスポイント（APN）の設定を行います。

3.5.1. アクセスポイントの設定

▼ 操作方法

1) [SIM]にタッチする

- 表示された[SoftBank]*にタッチします。

2) [アクセスポイント名]にタッチする

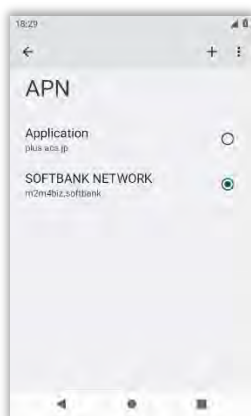


*: ファームウェアのバージョンにより表示されない場合があります。

- APN選択画面が開きます。

3) 「SOFTBANK NETWORK」にタッチする

- [○]にタッチすると選択[●]されます。



⚠ 注意

- 本機で使用できるSIMカードは限定されています。詳しくは購入先にご確認ください。

■ APN設定後ステータスバーの表示が「」のときはネットワークに接続できない状態ですので、次の操作を行ってください。

▼ 操作方法

1) [SIM]にタッチする

- 「SIMを使用」のスイッチを「OFF」にします。
- [はい]にタッチします。



2) 「SIMを使用」のスイッチを「ON」にする

- しばらくしてステータスバーに「」と「4G」が表示されると、ネットワークに接続します。



▼ 上記操作を行ってもネットワークに接続できないときは

本体を再起動する (→P18)

- 本体の再起動を行って、ステータスバーに「」と「4G」が表示されるかを確認してください。
- 再起動してもネットワークに接続できないときは、SIMカード挿入の向きを確認し、はじめから操作をやり直してください。 (→P13)

3.6. Bluetoothを設定する

3.6.1. BluetoothのON/OFF

▼ 操作方法

- 1) [Bluetooth（接続先のデバイス）]にタッチする
- 2) [接続の設定]にタッチする
- 3) [Bluetooth]にタッチする
 - 「Bluetoothを使用」のスイッチを「ON」または「OFF」にします。



3.6.2. ペアリング設定

Bluetooth対応のデバイスとペアリングします。

▼ 操作方法

- 1) [Bluetooth（接続先のデバイス）]にタッチする
- 2) [接続の設定]にタッチする
- 3) [Bluetooth]にタッチする
 - 「Bluetoothを使用」のスイッチを「ON」にします。
- 4) [新しいデバイスとペア設定]にタッチする
 - 本機が検出した周囲のBluetooth対応デバイスが表示されます。

- 5) 本機とペアリングしたいデバイス名にタッチする
- 6) 画面上の指示に従って操作する

- ペアリングが完了すると、「ペア設定済みのデバイス」にデバイスが表示されます。



- 「すべて表示」にタッチすると、接続済みデバイス一覧が表示されます。

《 知識 》

- Bluetoothを「ON」に設定したあとは、「接続済みデバイス」表示画面の「+新しいデバイスとペア設定」から追加で登録したい機器をペアリングすることができます。

3.6.3. デバイスの削除

ペアリング済みのデバイスを削除（ペアリング解除）します。

▼ 操作方法

- 1) [Bluetooth（接続先のデバイス）] にタッチする
- 2) 「ペア設定済みのデバイス」の一覧に表示された削除したいデバイスを選択する
 - 削除したいデバイスの[]にタッチします。
 - 表示された[削除]にタッチしてください。



3.6.4. 端末の名前変更

他のBluetooth対応デバイスを本機に表示させる名前を変更します。

▼ 操作方法

- 1) [Bluetooth（接続先のデバイス）] にタッチする
- 2) 「ペア設定済みのデバイス」の一覧に表示された名前を変更したいデバイスを選択する
 - 名前を変更したいデバイスの[]にタッチします。
- 3) 画面右上の[]にタッチする
 - ソフトウェアキーボードで「デバイス名」の部分に端末名を入力します。
 - 入力後 [名前を変更] にタッチしてください。
 - やめるときは[キャンセル] にタッチしてください。



3.7. 音の設定をする

3.7.1. 音量設定

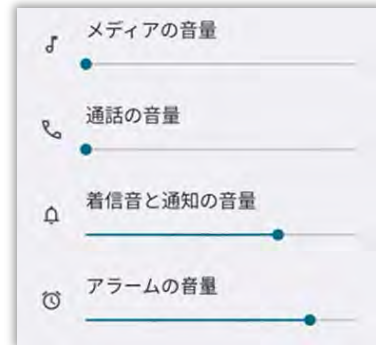
通知音などの音量を設定します。



▼ 操作方法

- 1) [音量] にタッチする
- 2) 各音量の調整や設定を行う

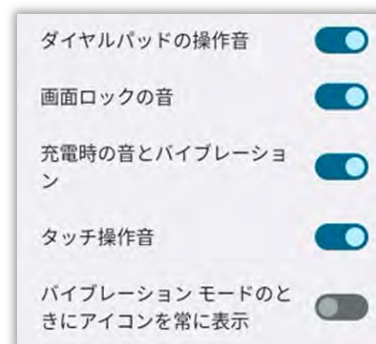
- ・ スライダーを動かして、音量を設定します。



《 知識 》

- 決済時の音量は「メディアの音量」で調整できます。
 - ・ 音量を40%未満に設定した場合は、自動的に70%相当の音量へ調整されます。
 - ・ 40%以上に設定した場合は、設定した音量で動作します。
- ※量の割合（%）は画面に表示されず、上記数値は目安です。

- ・ スイッチを操作してON／OFFを設定します。



《 知識 》

- 項目をタッチして、内容を選択する設定に関しては、画面上の指示に従って操作してください。

3.8. デバイス情報を確認する

本機の情報を確認したいときに使用します。



4. お客様によるお支払いの操作

4.1. 端末操作画面について

各種お支払い方法に応じて端末操作画面を切り替え、操作を行ってください。

- 起動後の初期画面から決済画面までの操作については、次を参照してください。

- 初回起動設定 (→P29)
- ホーム画面について (→P30)

■ クレジット決済操作画面

以降、「クレジットカードでのお支払い」の操作については、図の表示からの説明をしています。

番号	名称	機能
①	[三]ボタン	メニュー画面を表示します。 (→P14)
②	入力欄	金額などを入力する欄です。 数字キーを操作して、金額を入力します。
③	[確定]ボタン	決済する金額を入力後、確定するボタンです。 確定ボタンを押すと、支払方法選択画面が表示されます。
④	[←]ボタン	決済初期画面に戻ります。
⑤	決済アイコン	支払方法選択画面で決済方法を選択します。(クレジット)

その他の操作について

- 画面・アイコン表示 (→P14)
- タッチパネルの操作 (→P25)
- アイコンの操作 (→P26)

■ 電子マネー決済操作画面

以降「**電子マネーでのお支払い**」の操作については、図の表示からの説明をしています。

決済初期画面

支払金額

①

②

¥123,456

7 8 9

4 5 6

1 2 3

0 00

クリア

確定

③

支払方法選択画面

支払方法

④

クレジット

⑤

電子マネー

QRコード

決済画面（電子マネー）

電子マネー選択

⑥

iD

Edy

⑦

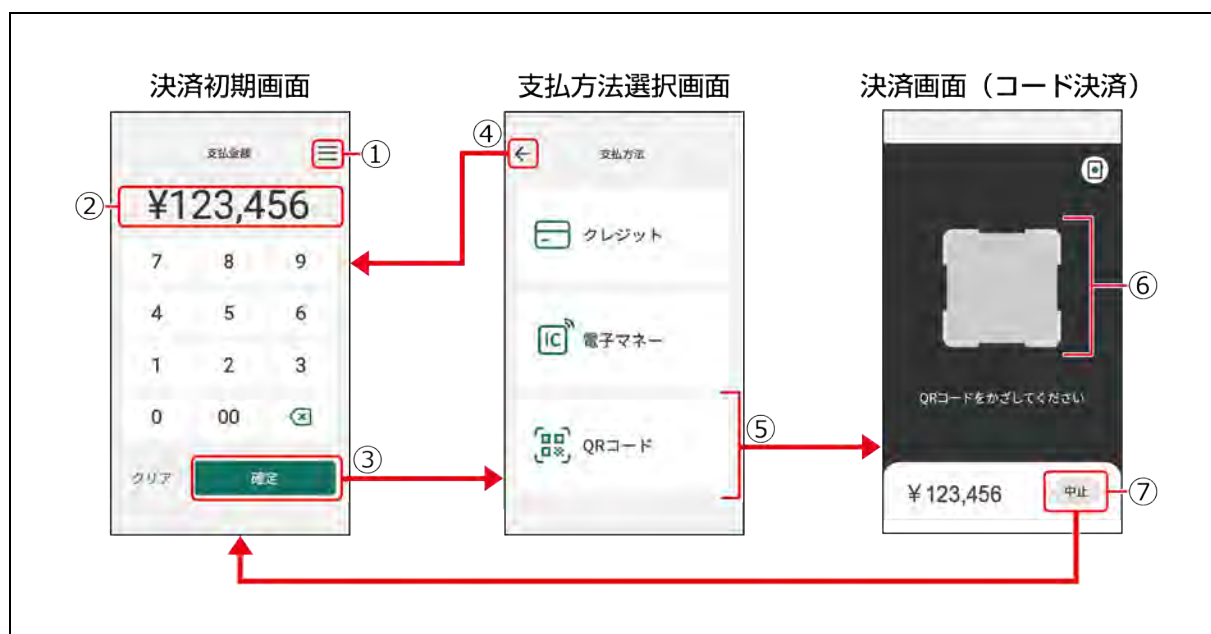
番号	名称	機能
①	[三]ボタン	メニュー画面を表示します。 (→P14)
②	入力欄	金額などを入力する欄です。 数字キーを操作して、金額を入力します。
③	[確定]ボタン	決済する金額を入力後、確定するボタンです。 確定ボタンを押すと、支払方法選択画面が表示されます。
④	[←]ボタン	決済初期画面に戻ります。
⑤	決済アイコン	支払方法選択画面で決済方法を選択します。（電子マネー）
⑥	[×]ボタン	支払方法選択画面に戻ります。
⑦	電子マネーアイコン	決済したい電子マネーアイコンを選択します。

その他の操作について

- 画面・アイコン表示 (→P14)
- タッチパネルの操作 (→P25)
- アイコンの操作 (→P26)

■ コード決済操作画面

以降「**コード決済でのお支払い**」の操作については、図の表示からの説明をしています。



番号	名称	機能
①	[三]ボタン	メニュー画面を表示します。 (→P14)
②	入力欄	金額などを入力する欄です。 数字キーを操作して、金額を入力します。
③	[確定]ボタン	決済する金額を入力後、確定するボタンです。 確定ボタンを押すと、支払方法選択画面が表示されます。
④	[←]ボタン	決済初期画面に戻ります。
⑤	決済アイコン	支払方法選択画面で決済方法を選択します。(QRコード)
⑥	QRコードスキャン画面	カメラで読み取らせたQRコードが表示されます。 (→P47)
⑦	[中止]ボタン	決済初期画面に戻ります。

その他の操作について

- 画面・アイコン表示 (→P14)
- タッチパネルの操作 (→P25)
- アイコンの操作 (→P26)

4.2. 店舗側の操作

4.2.1. 売上処理

お客様がお支払いするときに店舗側で行います。

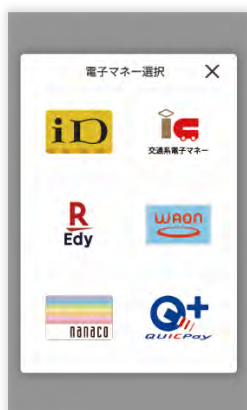
▼ 操作方法

1) 金額を入力する

- 金額を入力して[確定]にタッチします。

2) 支払方法を選択する

- お支払い対象のアイコンにタッチします。
- クレジットカード決済の場合：(→P38)
- 電子マネー決済の場合：(→P39)
 - 決済する電子マネーの種類が表示されますので、選択してください。
 - 取引を中断する場合は[×]にタッチしてください。



- コード決済の場合：(→P40)

3) お客様に決済操作をしていただく

- クレジットカード決済の場合：(→P43)
- 電子マネー決済の場合：(→P45)
- コード決済の場合：(→P47)
- 取引を中断する場合は[中止]にタッチしてください。

《 知識 》

- 中断後は決済初期画面に戻ります。

4) お客様に暗証番号を入力していただく

- クレジットカード決済の場合：(→P43)

- 設定によっては、暗証番号入力画面が表示されない場合があります。
- 数字が入力されていない状態で[×]にタッチしていただくと、取引が中止されます。

《 知識 》

- 取引中断後は決済初期画面に戻ります。

5) 取引が実行される

- 正常終了したときは画面に完了のメッセージが表示されます。
 - クレジットカード決済で接触型ICカードの場合は、お客様にカードを抜き取っていただきます。(→P22)



6) お客様に電子サインを入力していただく(→P44)

- クレジットカード決済のみの操作です。
- 設定によっては、電子サイン入力画面が表示されない場合があります。

7) レシートの発行を選択する(→P42)

▼ クレジットカードでレシートを発行した場合

- カード会社控え／金融機関控えにご署名欄が印字された場合：
 - お客様から署名をいただき、お客様控えをお客様に渡します。
- 電子サインで署名をいただく場合：
 - お客様に電子サインを入力していただきます。(→P44)

■ 正常終了しないときは

エラーメッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。

4.2.2. レシートの発行

決済終了時、レシートの発行を選択できます。

■ プリンターが未接続の場合

▼ 操作方法

1) 売上処理操作を行う (→P41)

2) レシートの発行を選択する

- レシートが不要の場合は、[終了] にタッチ (①) すると、決済初期画面に戻ります。
- お客様がレシートの発行を求められる場合は、[レシートを表示] にタッチ (②) してください。
- 電子マネー決済のみ、表示するレシートの種類を選択することができません。

発行例：クレジット決済



- 表示するレシートの種類を選択し、[確定] にタッチ (③) します。

3) 画面にレシートが表示される

- 必要に応じて、お客様に表示画面を撮影していただきます。



- [×] にタッチしてレシートの発行選択画面に戻り、[終了] にタッチすると、決済初期画面に戻ります。

■ プリンターが接続されている場合 (オプション)

▼ 操作方法

1) 売上処理操作を行う (→P41)

2) レシートの発行を選択する

- レシートが不要の場合は、[終了] にタッチ (①) すると、決済初期画面に戻ります。
- お客様がレシートの発行を求められる場合は、[レシートを印字] にタッチ (②) してください。
- 電子マネー決済のみ、印字するレシートの種類を選択することができません。

発行例：コード決済



- 発行するレシートの種類を選択し、[確定] にタッチ (③) します。
- [×] にタッチすると、レシートの発行選択画面に戻ります。

3) レシートが発行される

- お客様に控えをお渡しします。



4) 決済を終了、またはレシートを再発行する



- [終了] にタッチすると、決済初期画面に戻ります。
- [レシートを再印字] にタッチすると、レシート発行選択画面 [手順 2\)](#) になります。

4.3. クレジットカードでのお支払い

4.3.1. カードの操作

決済時にお客様側で操作いただく内容は次のとおりです。

⚠ 注意

- 本機での支払い方法は「一括払い」のみに対応しています。一括以外の支払方法には対応しておりませんのでご注意ください。

▼ 操作方法

- 1) クレジット売上処理操作を行う ([→P41](#))
- 2) お客様にカード操作をしていただく

- 画面に「カードをどうぞ」と表示されます。
- 磁気カード、接触型ICカード、非接触型ICカードを操作（カードを差し込み、スライドまたはタッチ）していただきます。

《 知識 》

- カード操作については、([→P21](#)) 参照

4.3.2. 暗証番号の入力

取引中にお客様の暗証番号の入力が必要なときは、お客様に暗証番号を入力していただけてください。

- 暗証番号の入力ミスを防ぐため、入力音や画面表示を確認しながら確実に入力していただけてください。

⚠ 警告

暗証番号の入力方法をお客様にお伝えください

- 必ずお客様に入力いただけてください。
- 周りの人に見られたり、監視カメラに映ったりしないよう手で隠すなどして、入力いただくようにしてください。

▼ 操作方法

- 1) クレジット売上処理操作を行う (→P41)
- 2) お客様がカードの操作を行う (→P43)
- 3) お客様に暗証番号入力操作をしていただく
 - 画面に「暗証番号をどうぞ」と表示されます。
 - 数字キーをお客様に操作していただき、暗証番号を入力してもらいます。



《 知識 》

- 数字キーの配列は、毎回ランダムに変わります。

4) 入力完了後、[✓]にタッチしていただく

- 暗証番号入力中に[←]または[×]をタッチしていただくと、これまで入力された数字が全てクリアされます。
- 数字が入力されていない状態で[×]にタッチしていただくと、取引が中止されます。

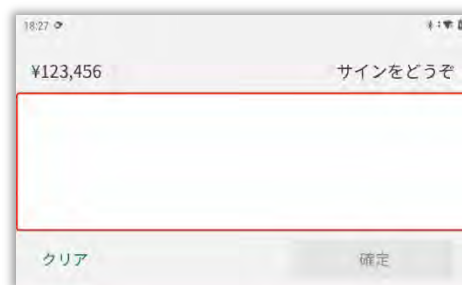
《 知識 》

- お客様が接触型ICカードをご利用された場合は、取引が承認された後にカードをお取りいただきます。

4.3.3. 電子サインの入力

▼ 操作方法

- 1) クレジット売上処理操作を行う (→P41)
- 2) お客様がカードの操作を行う (→P43)
- 3) お客様が暗証番号の入力を行う (→P43)
- 4) お客様にサイン入力操作をしていただく
 - 画面に「サインをどうぞ」と表示されます。
 - お客様にサインを入力してもらいます。



- 図の赤線で囲われているエリアのみ入力できます。
- 入力を訂正するときは、[クリア]にタッチしていただきます。

5) 正しくサイン入力できているか確認する

- 正しく入力されていることが確認できたら、[確定]にタッチしてください。



《 知識 》

- お客様に書き直しを依頼する場合は、[クリア]にタッチしてください。

4.4. 電子マネーでのお支払い

4.4.1. カード、スマートフォンの操作

決済時にお客様側で操作いただく内容は次のとおりです。

▼ 操作方法

- 1) 電子マネーでの売上処理操作を行う
(→P41)
- 2) お客様にカード、スマートフォン操作をしていただく
 - 画面に「タッチしてください」と表示されます。
 - カード、またはスマートフォンをかざしていただきます。

《 知識 》

- 非接触型ICカードリーダー操作については、(→P23) 参照

4.4.2. 決済処理未了のときは

■ 「不明な状態で終了」が表示されたときは

決済未了のときは、取引が完了していない旨の画面が表示されます。



お客様側で操作いただく内容は次のとおりです。

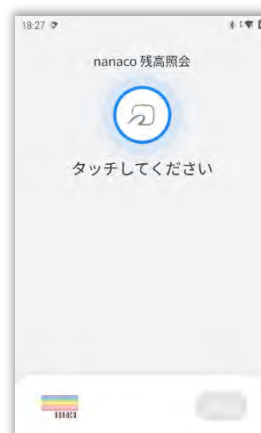
▼ 操作方法

1) 残高照会を行う

- 決済未了の表示画面で[残高照会]にタッチします。

2) お客様にカード、またはスマートフォン操作をしていただく (→P45)

- 決済操作を行ったカード、またはスマートフォンをかざしていただきます。



3) 残高照会の結果により次の画面が表示される

- 取引が正常に完了した場合：
取引完了の内容が表示されます。
- 取引が正常に完了していない場合：
取引不成立の内容が表示されます。
・はじめから操作をやり直す、または別の支払方法に変更してください。



正常完了時



異常完了時

■ 再度「不明な状態で終了」が表示されたときは

再度「取引が不明な状態で終了しました」と表示されたときは、店舗側で次の操作を行ってください。

▼ 操作方法

1) 画面に表示された次の内容の記録を行う

- 表示中の画面表示の記録、または撮影
- 「取引前残高」金額表示の記録、または撮影

プリンター接続時



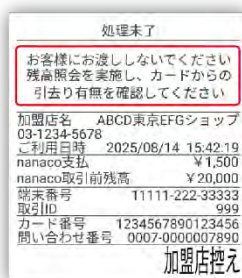
プリンター非接続時



2) レシートを発行、または表示する

- プリンター接続状況に応じて「処理未了レシート」を印字、または画面表示の記録、撮影を行ってください。

プリンター接続時



プリンター非接続時



- 印字したレシートはお客様に渡さないでください。

3) 電子マネーの残高照会を行う (→P46)

- 電子マネーの残高照会を行った結果が「処理未了レシート」の「取引前残高」と一致しているかを確認してください。
 - 一致している場合：

支払いが完了していません。はじめから操作をやり直す、または別の支払方法に変更してください。
 - 不一致の場合（請求分が減額されている）：

支払いは完了しています。

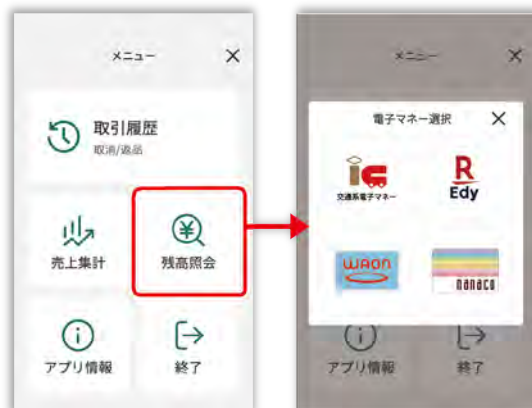
4.4.3. 電子マネーの残高照会

本機では、交通系IC、楽天Edy、WAON、nanacoの電子マネー残高を確認することができます。

▼ 操作方法

1) 決済初期画面からメニュー画面を表示する (→P38)

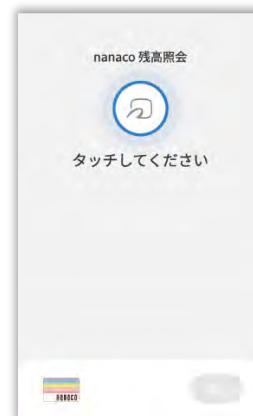
2) [残高照会]にタッチする



- 残高照会可能な電子マネーが表示されます。

3) 対象の電子マネーにタッチする

- 画面に「タッチしてください」と表示されます。



4) お客様にカード、スマートフォン操作をしていただく

- カード、またはスマートフォンをかざしていただくと、残高が表示されます。

《 知識 》

- 非接触型ICカードリーダー操作については、(→P23) 参照

4.5. コード決済でのお支払い

4.5.1. コードの読み取らせかた

決済時にお客様側で操作いただく内容は次のとおりです。

▼ 操作方法

- 1) コード決済での売上処理操作を行う
(→P41)
- 2) お客様にコードをかざしていただく



- 画面に「QRコードをかざしてください」と表示されます。
- スマートフォンに表示された、コードをかざしていただきます。

《 知識 》

- バーコードリーダー（カメラ）操作については、(→P24) 参照

■ 正面／上側面カメラの切り替えについて

画面右上の[]にタッチすると、カメラを切り替えることができます。

- []：フロント（正面）のカメラで読み取ります。
- []：上部（上側面）のカメラで読み取ります。
- カメラの位置 (→P12)



5. 決済後の処理について

5.1. レシート再発行・取消処理について

5.1.1. レシート再発行・売上取消処理

レシートの再発行や、お客様のお支払いを取り消すときに行います。

⚠ 注意

- クレジット、電子マネー、QRコード全ての決済で取消／返品処理を行えますが、電子マネーに限り、「iD」と「QUICPay」のみ取消に対応しています。

▼ 操作方法

1) 決済初期画面を表示させる (→P38)

- [三] ボタンにタッチします。

2) [取引履歴] にタッチする



- メニューアイコンから[取引履歴] にタッチします。
- [終了] にタッチすると、ホーム画面に戻ります。 (→P30)

3) 取引履歴を検索する

- 画面は上下にスワイプできます。
- 対象の取引にタッチします。



● 過去取引の場合：

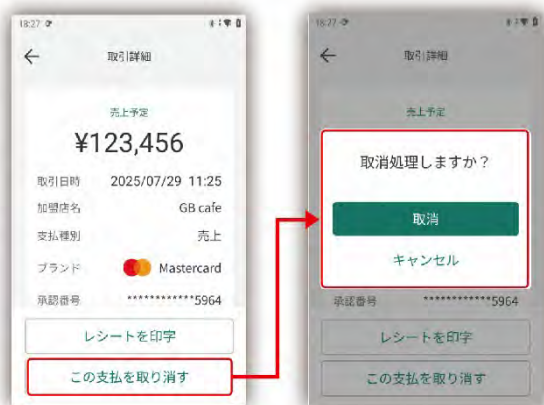
- [🔍] にタッチして、取引検索の項目に入力して検索します。



- 「取引ID」、「取引日」、「取引種別」を入力し、[絞り込む] にタッチします。
- 表示された対象の取引にタッチします。

4) [レシートを印字]、または[この支払を取り消す]にタッチする

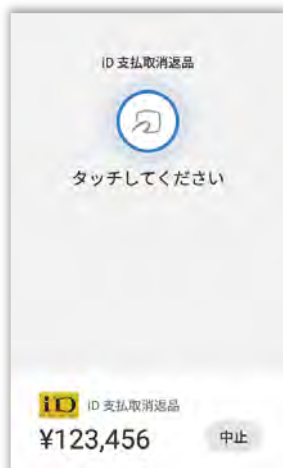
- 選択した取引に間違いがないか確認します。
- レシートを再発行するときは (→P42)
- 支払を取り消すには[取消]にタッチします。



- 操作を中断する場合は[キャンセル]にタッチしてください。

▼ 電子マネー決済の場合のみ操作が必要

お客様に決済操作をしていただく (→P45)



- 取引を中断する場合は[中止]にタッチしてください。ただし、決済操作をした後などは中断できません。

《 知識 》

- 中断後は決済初期画面に戻ります。

5) 取消が実行される

- 正常終了したときは画面に完了メッセージが表示されます。



6) レシートの発行を選択する (→P42)

- お客様にレシート（取消伝票）の表示、または印字を選択していただきます。

《 知識 》

- 通常、電子マネー決済でレシートを発行するときは、レシートの種類を選択できず、お客様控えが発行されますが、取引履歴からレシートを再発行する場合に限り「iD」と「QUICPay」のみレシートの種類を選択することができます。

5.2. 売上集計について

5.2.1. 売上集計

決済端末での売上集計を確認することができます。

▼ 操作方法

1) 決済初期画面を表示させる (→P38)

- [三] ボタンにタッチします。

2) [売上集計] にタッチする



- メニューアイコンから [売上集計] にタッチします。
- [終了] にタッチすると、ホーム画面に戻ります。 (→P30)

3) 売上集計を表示する

4) 支払方法別で確認する

- 対象の支払方法にタッチします。



5) 支払方法別の決済履歴が表示される



• 期間を絞り込む場合：

- 手順 4) の操作で [絞り込む] にタッチして、期間の絞り込みの項目に入力し、検索します。



- 「開始日時」、「終了日時」を入力、または「今日の売上」にチェックを入れ、[絞り込む] にタッチします。
- 表示された対象の支払方法にタッチします。



5.3. アプリ情報について

使用されている登録された加盟店様の情報を確認することができます。

5.3.1. アプリ情報

▼ 操作方法

1) 決済初期画面を表示させる (→P38)

- [三]ボタンにタッチします。

2) [アプリ情報]にタッチする



- メニューアイコンから[アプリ情報]にタッチします。
- [終了]にタッチすると、ホーム画面に戻ります。 (→P30)

3) アプリ情報が表示される



5.3.2. 利用可能コード決済一覧

加盟店様が利用できるQRコード決済の一覧を確認することができます。

1) アプリ情報を表示させる

2) [利用可能コード決済一覧]にタッチする

- 利用可能なQRコード決済が表示されます。
- 画面は上下にスワイプできます。



5.3.3. 商標・ライセンス情報

本機の商標・ライセンス情報一覧が表示されます。

1) アプリ情報を表示させる

2) [商標・ライセンス情報]にタッチする

- 商標・ライセンス情報が表示されます。



6. その他の情報

6.1. ロール紙が詰まったときは

ロール紙が詰まったときは、次の操作を行ってください。

⚠ 注意

- ロール紙が詰まったときは、必ず印字が終了してからフロントカバーを開けてください。
- フロントカバーが開かないときはフロントカバーを無理に開けず、巻末に記載の「お問い合わせ先」にご連絡ください。 (→P55)

▼ 操作方法

1) フロントカバーを開く

- フロントカバーオープンレバー (①) を押し、フロントカバーを開きます。



2) ロール紙を取り出す

- しわや汚れがある部分を取除いてください。

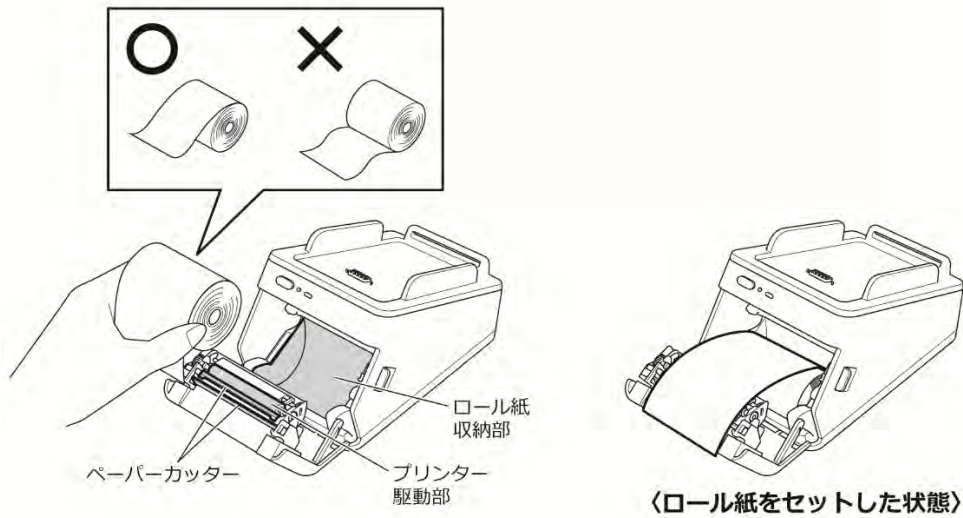
⚠ 警告

ロール紙を取り出すときは

- プリンター内部は高温になりますので触らないように注意してください。
- ペーパーカッターで指を切らないように注意してください。

3) ロール紙をセットする

- ロール紙がつぶれているなど変形しているときは、形を丸く整えてください。
- ロール紙を収納部に入れ、ロール紙をまっすぐに引き出します。

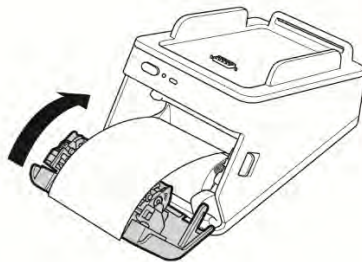


⚠ 注意

- ロール紙の向きを確認してからセットしてください。ロール紙を逆向きにセットすると印字ができなくなります。
- ロール紙の先端がロール紙排出口から2 cm程度出るようにロール紙を引出します。

4) フロントカバーを閉じる

- カチッと音がするまでフロントカバーを閉めます。
- ロール紙送り・カットボタンを1回押すと紙送り、およびパーシャルカット処理を行います。



⚠ 注意

- 指などをはさまないように注意してください。

6.2. 仕様

本製品（付属品含む）は日本国内仕様です。このページには基本モデルの仕様を掲載しています。

■ 仕様（本体）

項目		仕様
OS		Android 12 GO
CPU		2GHz クアッドコアプロセッサ 専用暗号化 / セキュリティプロセッサ
メモリー		2GB RAM 32GB ROM
ディスプレイ	表示方式	TFTカラー液晶
	画面寸法	4.0型
	解像度	480×800
タッチパネル	方式	静電容量方式
磁気カードリーダー	対応カード	JIS II型（3トラック双方向、スマートカードリーダー）
	操作方式	手動走行式
接触型ICカードリーダー	対応カード	ISO/IEC 7816規格準拠接触型ICカード
	操作方式	手動挿入、手動排出
非接触型ICカードリーダー／ライター	対応カード	ISO/IEC14443認定（タイプ A/B） 規格準拠非接触型ICカード および FeliCa
SIM		Micro SIMスロット
USBポート	準拠規格	USB 2.0
	コネクタ	USB Type-C
ネットワーク		4G対応 Wi-Fi 2.4GHz/5GHz、802.11 a/b/g/n/ac
Bluetooth	バージョン	5.0 + BLE
カメラ	画素数	200万画素 固定焦点
	読み取り可能コード	Code 128（GS1-128）、NW-7、QRコード
スピーカー		1Wスピーカー
セキュリティ		PCI PTS 6.x SRED含む、オープンプロトコル、 PIN on Glass、TRNG
バッテリー		リチウムイオンポリマー電池 2700mAh、3.85V、10.4Wh
消費電力		最大48W
作動環境	作動温度	0℃ ～ 50℃（充電時を除く）、5℃ ～ 40℃ （充電時、端末 によるバッテリー温度管理）
	作動湿度	10% ～ 90%（結露なきこと）
	保管温度	-20℃ ～ 60℃
外形寸法	幅×奥行×高さ	71mm x 116mm x 18mm
重量		190g

■ 仕様（プリンター）

項目		仕様
印刷方式		感熱式
ロール紙サイズ*		58mm × 40mm（最大）
インターフェイス	Bluetooth（本体経由）	
	ペアリング最多4台まで対応	
	本体接続時自動ペアリング	
接続管理		アクティブ接続1台
印字速度		最速120mm/秒
法規認証		PSE、TELEC
防塵・防滴性能		IP52準拠
作動環境	作動温度	0℃ ～ 40℃
	作動湿度	10% ～ 90%（結露なきこと）
	保管温度	-20℃ ～ 60℃
ACアダプター （専用品）	入力	AC 100-240V ～ 50/60Hz 1.0A
	出力	DC 12V 4.0A
消費電力		最大48W
固定機能		鍵穴型の取り付け用スロット付き（底面）
カッター機能		フルカット、パーシャルカット対応自動カッター
外形寸法	幅×奥行×高さ	98mm x 161mm x 92mm

*コアなしの場合、用紙ロールの内径は8mm 以上であること

6.3. お問い合わせ先

お間違えのないよう、番号をお確かめのうえ、ご連絡ください。

■ 端末障害、操作方法等のお問い合わせ

○ 三井住友カード端末ヘルプデスク

電話番号 **06-7733-7335**

